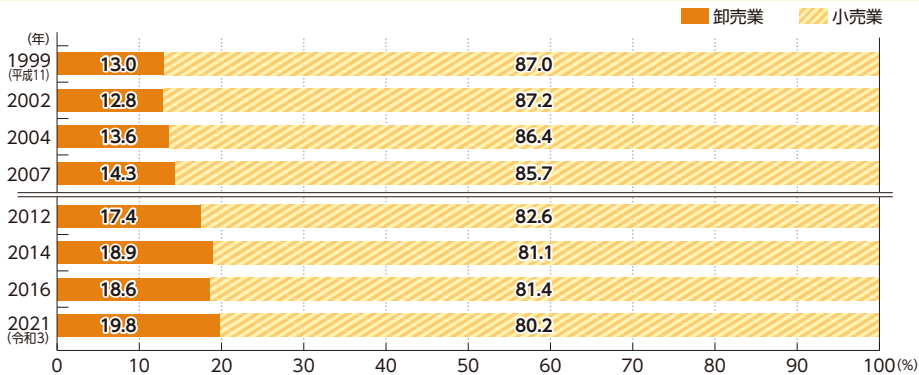




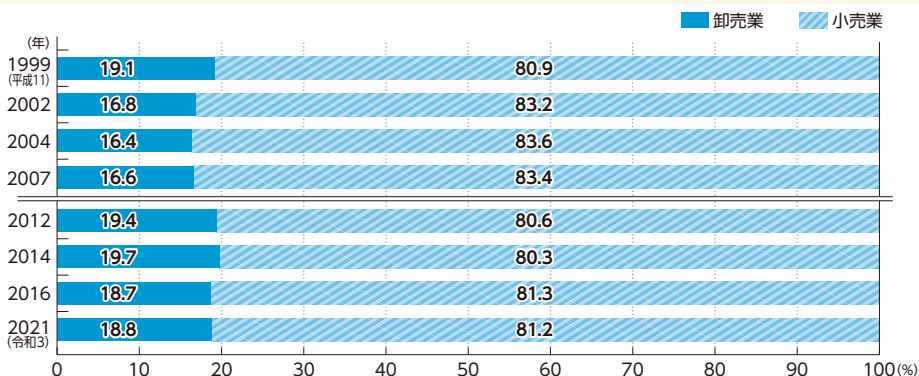
## 事業所数の割合の推移

資料：経済産業省「商業統計調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」(2012(H24)年、2016(H28)年、2021(R3)年)



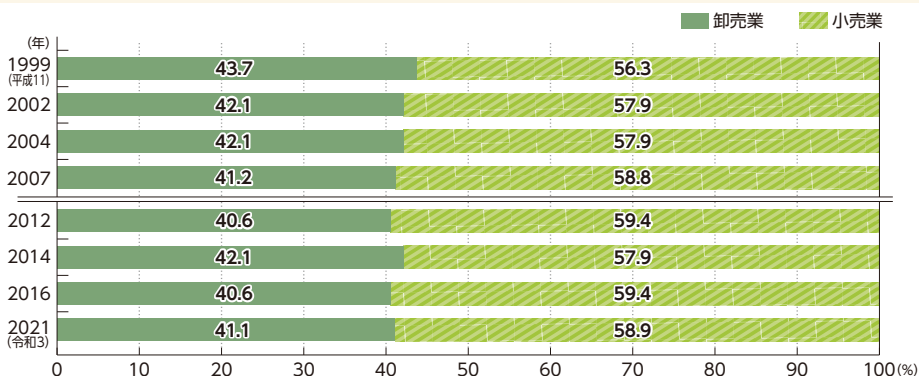
## 従業者数の割合の推移

資料：経済産業省「商業統計調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」(2012(H24)年、2016(H28)年、2021(R3)年)



## 年間商品販売額の割合の推移

資料：経済産業省「商業統計調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」(2012(H24)年、2016(H28)年、2021(R3)年)



※1 2012(H24)年以降は、日本標準産業分類の第12回改定等に伴い、2007(H19)年調査以前の数値と接続しない。

※2 年間商品販売額は、調査の前年1年間の数値。ただし、1997(H9)年は前年6月1日から当年5月31日まで、1999(H11)～2007(H19)年は前年4月1日から当年3月31日までの数値。



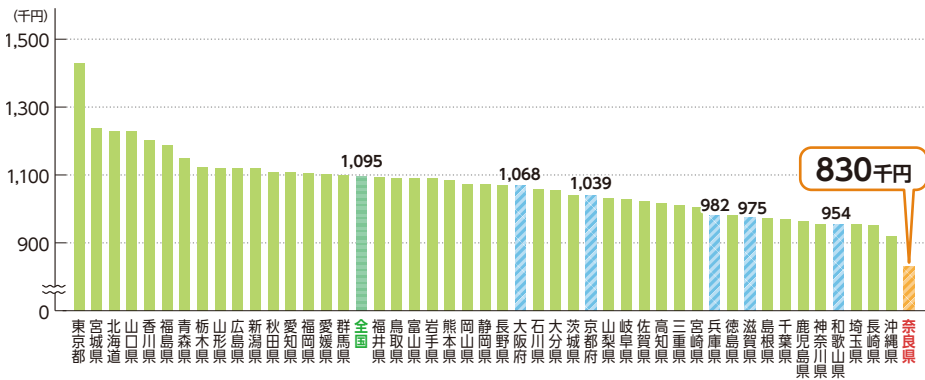
# 県民1人当たりの年間商品販売額(小売業)

## 県民1人当たりの小売業年間商品販売額は全国最下位

奈良県の県民1人当たりの小売業の年間商品販売額は830千円と全国平均1,095千円と比べ265千円低く、全国の順位は47位となっています。1999(H11)年調査以降、全国の順位は45～47位で推移しています。

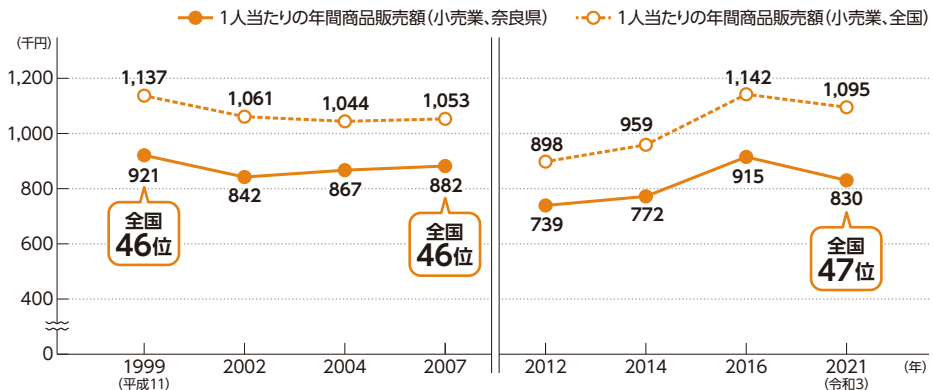
### 県民1人当たりの年間商品販売額(小売業) 全国比較

資料：総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」、総務省統計局「人口推計」



### 県民1人当たりの年間商品販売額(小売業) 推移

資料：総務省・経済産業省「商業統計調査」、「経済センサス-活動調査」(2012(H24)年値、2016(H28)年値、2021(R3)年値)



※1 2012(H24)年以降は、日本標準産業分類の第12回改定等に伴い、2007(H19)年調査以前の数値と接続しない。

※2 年間商品販売額は、調査の前年1年間の数値。ただし、1999(H11)年～2007(H19)年は、前年4月1日から当年3月31日までの数値。



## 事業所数、従業者数、年間商品販売額(小売業)

小売業の事業所数は、8,704事業所、従業者数は、7万2,983人、年間商品販売額は、1兆995億円

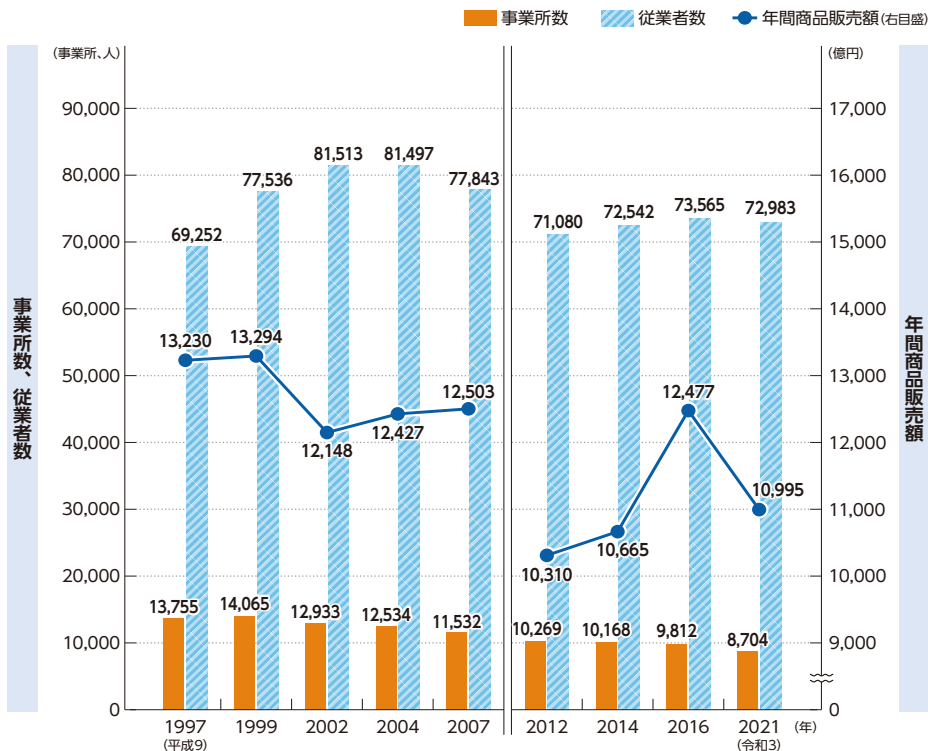


奈良県の全国の順位は、事業所数が全国39位、従業者数は33位、年間商品販売額は37位となっています。

令和3年経済センサス-活動調査の小売業の事業所数は、平成28年経済センサス-活動調査に比べ1,108事業所(11.3%)減少し、8,704事業所、従業者数は、582人(0.8%)減少し、7万2,983人、年間商品販売額は1,482億円(11.9%)減少し、1兆995億円となっています。

## 小売業の事業所数、従業者数、年間商品販売額の推移

資料：経済産業省「商業統計調査」、総務省「経済産業省「経済センサス-活動調査」(2012(H24)年値、2016(H28)年値、2021(R3)年値)



※1 従業者数=個人業主+無給家族従業者+有給役員+常用雇用者 従業者数には臨時雇用者数は含めていない。

※2 年間商品販売額は、調査の前年1年間の数値。ただし、1997(H9)年は前年6月1日から当年5月31日まで、1999(H11)~2007(H19)年は前年4月1日から当年3月31日までの数値。

※3 2012(H24)年以降は、日本標準産業分類の第12回改定等に伴い、2007(H19)年調査以前の数値と接続しない。



## 産業小分類別の年間商品販売額

### 小売業の年間商品販売額は、各種食料品が最も多い



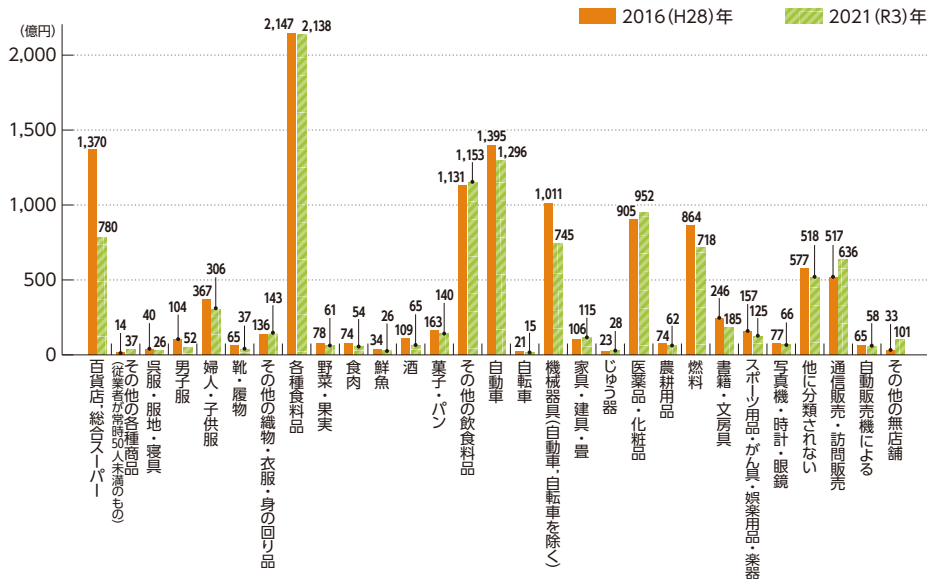
令和3年経済センサス-活動調査の小売業の年間商品販売額を産業小分類別にみると、各種食料品(2,138億円、構成比20.1%)が最も多く、次いで自動車(1,296億円、12.2%)、その他の飲食物品(1,153億円、10.8%)、医療品・化粧品(952億円、8.9%)の順となりました。

平成28年経済センサス-活動調査と比べると、通信販売・訪問販売(636億円、23.0%増)、その他無店舗(101億円、202.2%増)、医療品・化粧品(952億円、5.2%増)など8業種で増加しましたが、百貨店・総合スーパー(780億円、43.1%減)、機械器具(745億円、26.3%減)、燃料(718億円、17.0%減)など21業種で減少となりました。(寄与度順)



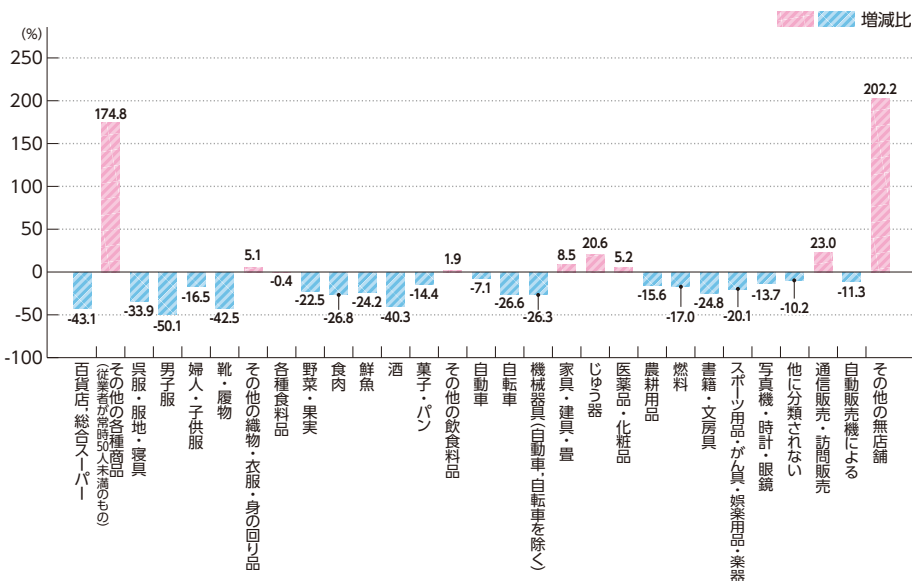
## 産業小分類別の年間商品販売額の比較

資料：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」(2016(H28)年値、2021(R3)年値)



## 産業小分類別の年間商品販売額の増減比

資料：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」(2016(H28)年値、2021(R3)年値)



※ 年間商品販売額は、調査の前年1年間の数値。



## 事業所数、従業者数、年間商品販売額(卸売業)

卸売業の事業所数は、2,149事業所、従業者数は、1万6,924人、年間商品販売額は、7,661億円

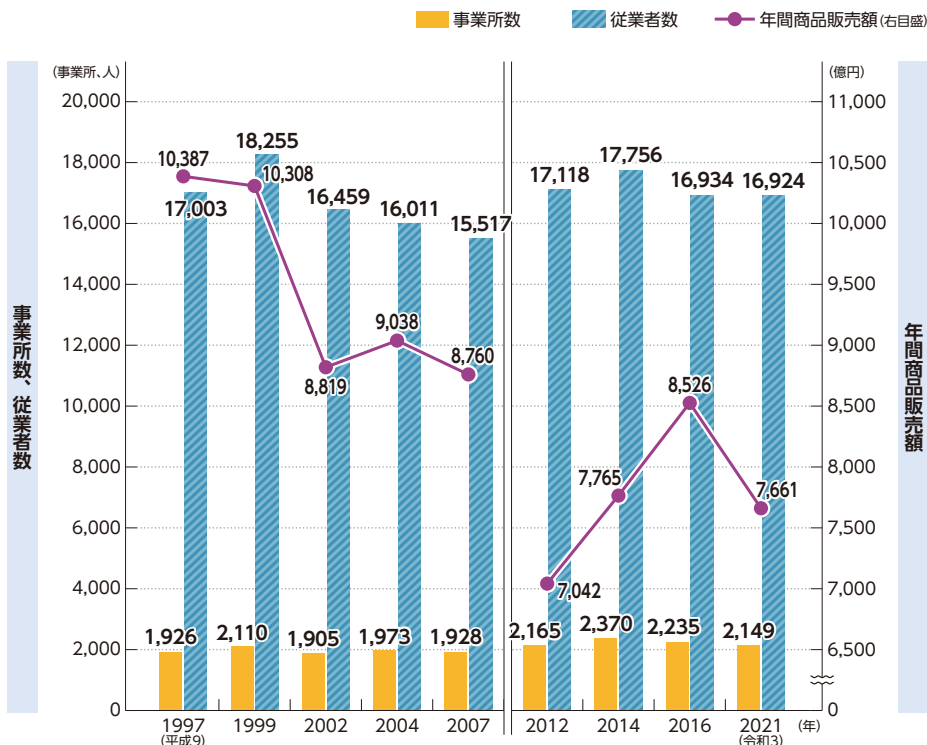


奈良県の全国の順位は、事業所数は42位、従業者数は42位、年間商品販売額は44位となっています。

令和3年経済センサス-活動調査の卸売業の事業所数は、平成28年経済センサス-活動調査に比べ86事業所(3.8%)減少し、2,149事業所、従業者数は、10人(0.1%)減少し、1万6,924人、年間商品販売額は、865億円(10.1%)減少し、7,661億円となっています。

## 卸売業の事業所数、従業者数、年間商品販売額の推移

資料：経済産業省「商業統計調査」、総務省「経済産業省「経済センサス-活動調査」(2012(H24)年値、2016(H28)年値、2021(R3)年値)



※1 従業者数は個人業主+無給家族従業者+有給役員+常用雇用者 従業者数には臨時雇用者数は含めていない。

※2 年間商品販売額は、調査の前年1年間の数値。ただし、1997(H9)年は前年6月1日から当年5月31日まで、1999(H11)~2007(H19)年は前年4月1日から当年3月31日までの数値。

※3 2012(H24)年以降は、日本標準産業分類の第12回改定等に伴い、2007(H19)年調査以前の数値と接続しない。